

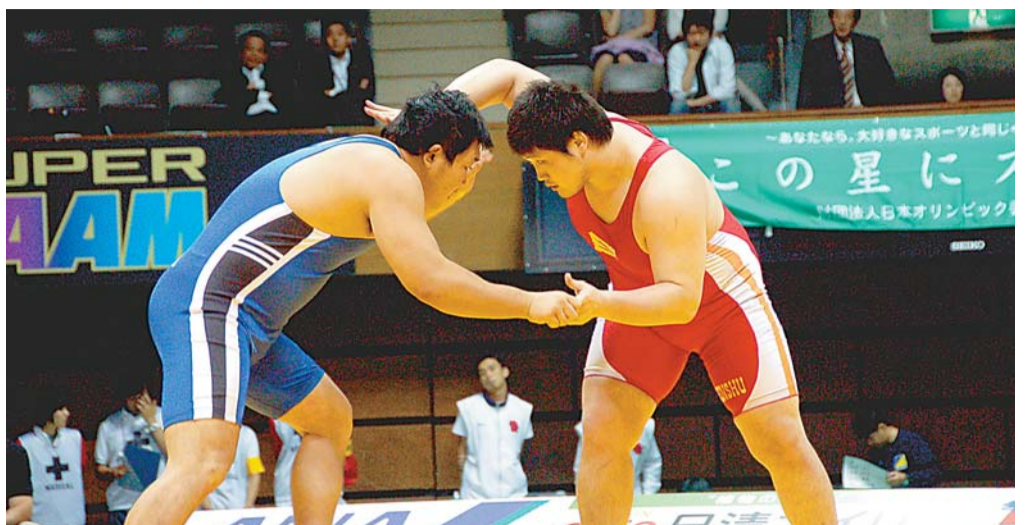
専大スポーツ

No. 268

「専修大学」体育会ホームページ
http://www.senshu-u.ac.jp/campuslife/sports_info/index.html

レスリング・全日本選抜選手権

荒木田、悲願の初優勝



▲ 危なげなく勝ち進み、決勝も2-0で完勝の荒木田(右)

細越、馬場は3位入賞

全日本選抜レスリング選手権が6月25、26の両日、東京・代々木第2体育館で行われ、フリースタイル(以下フリー)120kg級で荒木田進謙(経済3・光星学院高)が悲願の初優勝を挙げた。

1回戦をシードされ、2回戦から出場した荒木田は順調にトーナメントを勝ち進み、決勝も2-0のストレートで勝利した。「全日本選抜は今までずっと上位だったが、やっと優勝することができた。5月の東日本リーグ戦で左足を負傷してしまい、調整がうまくいかなかったが、今まで練習してきたことを出せた。世界ジュニア選手権(7月20日〜8月3日、トルコ)でも結果を残してきたので、最後まで苦しめたが、あと一歩及ばず39-45で敗れ、リーグ戦に続き、法政大に優勝を阻まれた。出場した大久玲(経営4・仙台高)、西川哲也(文4・和歌山北高)、阪野弘和(経済3・武生商高)は「今年も法政大という壁を打ち破ることができなかった」と口をそろえ、悔しさを表した。また、「敗因は動きの質。特に下がる時のスピードや距離感なども

男子フルール団体で準優勝

東・西リーグの各部門上位2校が大学日本一を争う、全日本学生フェンシング王座決定戦が6月7、8の両日、中央大学で行われた。専大からは関東リーグ戦2位の男子フルール団体が参戦し、準優勝を果たした。

トーナメント1回戦で、関西王者の同志社大を45-31で破り、決勝へ。関東王者・法政大を最後まで苦しめたが、あと一歩及ばず39-45で敗れ、リーグ戦に続き、法政大に優勝を阻まれた。出場した大久玲(経営4・仙台高)、西川哲也(文4・和歌山北高)、阪野弘和(経済3・武生商高)は「今年も法政大という壁を打ち破ることができなかった」と口をそろえ、悔しさを表した。また、「敗因は動きの質。特に下がる時のスピードや距離感なども

卓球・関東学生選手権

徳増・森田組が初優勝

女子ダブルス 杉本・高組が3位



▲ 表彰式で賞状とトロフィーを受ける徳増(右)と森田

関東学生卓球選手権が7月3日から6日まで、駒沢オリンピック公園屋内球技場で行われ、男子ダブルスで徳増信弥(経済3・杜若高)・森田翔樹(商3・青森山田高)組が初優勝を果たした。準決勝はマッチポイントまで追い込まれたが、6点差をひっくり返し、大逆転勝利。波に乗った決勝では、第1セットを落としたが、残り3セットを1-1で引き分け、2セットを3-1でリードし、3位入賞、樽見早由利(文1・富田高)・天野友未(文1・日南学園高)組がベスト8。女子シングルの田村望(文3・就

やるぞ！北京五輪

ボクシング部OB 川内 将嗣さん



ライトウェルター級制覇へ闘志

8月6日から始まる北京五輪の祭典、北京オリンピックの専大からはボクシング部OBの川内将嗣さん(平20商II写真)がボクシング競技のライトウェルター級に出場する。同競技は9日から予選が始まり、23日に5階級、24日に6階級の決勝が行われる。昨年の世界アマチュア選手権でアテネ五輪金メダリストらを破り、銅メダルを獲得した川内さんの活躍に期待したい。



▲ 惜しくも決勝で敗れ、シングルス3年連続準優勝の井上春奈

バドミントン・関東学生選手権

女子単で井上春奈が準優勝

女子複 井上まり・穴井組が準優勝

日まで、東京・立川市泉場権を得た。体育館ほかで行われ、女子シングルスで井上春奈(商3・埼玉栄高)が3年連続で準優勝、同ダブルスでは井上まり(文4・越谷南高)・穴井友喜(商2・青森山田高)組が準優勝を果たした。また、同シングルスで落合智世(経済3・鈴峯女子高)、田村千秋(文2・昭和学園高)も3位に入賞。この結果、シングルス3人、ダブルス1組が秋の全日本学生選手権(以下インカレ)の出

フェンシング・阪野 弘和

ロンドン五輪強化指定選手に

3月から行われていた、ナショナルチームおよびロンドンFIE国際大会に参加できなかった。5位という結果は自分としては順当な結果だったと思う。五輪は4年後なので実感はないが、強化指定選手に選ばれた以上は目標を高く持ち、頑張っていきたい」と意識込みを語った。(馬場)



▲ 法政大との決勝戦。あと一歩及ばなかった(右が阪野)